

## (5) 医療・福祉

### ① 医療

興居島では、夜間や休日は無医地区となっていますが、常勤の医師がいる公設民営の診療所があります。

中島には、民間病院（内科、外科、整形外科、循環器科、耳鼻咽喉科）があり、中島地域の中核的な病院機能を担っています。

睦月島、野忽那島、怒和島、津和地島、二神島には常勤医師のいない公設の診療所がそれぞれの島にあり、中島の民間病院の医師が週に2回出張診療を行っています。

釣島や安居島には病院や診療所はありませんが、民間の巡回診療船が年間1～2回程度診療を実施しています。

歯科診療所については、中島に2施設あります。

いずれの島も、島の医療機関で行われている診療科目以外の治療や高度医療、専門医療については、本土の医療機関に大きく依存しています。

### ② 福祉

興居島の介護サービスについては、島外の民間業者によるサービスが提供されています。デイサービスについては泊地区に施設があり、サービスを利用される方のほとんどがこの施設を利用しています。

中島地域では、特別養護老人ホームや中島の民間病院が、介護サービスやデイサービスの中核施設として機能しています。

釣島や安居島については、島内に介護サービスやデイサービスを利用できる施設はありません。

保育施設については、釣島や安居島にはありませんが、興居島、中島、怒和島に公立の保育施設があり、野忽那島、睦月島、津和地島、二神島の保育施設は、乳幼児数の減少により休園しています。



皿山より(野忽那島)〈たなかあつし氏作〉



夫婦楠(睦月島)〈たなかあつし氏作〉

## (6) 教育・文化・スポーツ

### ① 教育

#### ア 小学校

興居島、中島、怒和島、津和地島にそれぞれ小学校がありますが、睦月島、野忽那島、二神島の小学校は、児童数の減少により休校しています。また、釣島には興居島の小学校の分校がありますが平成23年度末で休校しています。安居島には小学校はありません。

#### イ 中学校

興居島と中島にそれぞれ中学校が1校あります。睦月島、野忽那島、怒和島、津和地島、二神島の生徒は、中島にある寮で生活し、中島の中学校に通学しています。釣島や安居島には、中学校はありません。

#### ウ 高等学校

中島に高等学校の分校がありますが、ほかの島には高等学校はありません。島から本土の高等学校に通学する生徒は、定期船を利用して通学するか、本土で下宿生活を送っています。

### ② 文化

興居島では春に「島四国」が開催され、島外から多くの方が訪れています。また、秋には県の無形民俗文化財に指定されている「船踊り」が奉納されるなど、島独自の文化が传承されています。

中島では個性あふれる「やっこ振り」や「道具踊り」などの、独自の伝統や文化が育まれています。平成11年度には総合文化センターが開設され、中島地域文化祭や文化講演会のほか、吟行の旅や瀬戸内俳句大会など新たな文化が創造され、地域の文化活動の拠点となっています。

釣島では明治6年に建設された県内最古の洋式建造物である釣島灯台や明治6年竣工時の姿を現地で保っている灯台官舎などが残されており公開事業が行われています。

### ③ スポーツ

興居島では平成3年に開催場所を城山公園堀之内から興居島に移した「松山市中学校駅伝競走大会」(58回※)が行われています。

中島では、全国有数の開催回数と人気を誇る「トライアスロン中島大会」(26回※)や「ビーチサッカーフェスティバルin中島大会」(5回※)が行われています。また、中島B&G海洋センターでは、スポーツやレクリエーションをとおした青少年の育成や地域住民の健康づくりに取り組んでいます。

※各大会の開催回数は、平成23年度末現在のもの。



トライアスロン中島大会(中島)



船踊り(興居島)



やっこ振り(中島)



釣島灯台(釣島)



漁港の夜景(津和地島)



ビャクシン自生地(二神島)



# 3. 島しょ部の現状認識

## (1) 海上交通について

島しょ部では医療サービスや日用品の購入が島内で完結できないため、島びとは本土まで通院や買い物に出かけることとなります。こうした場合、島によっては船便の都合で1日がかかりになることに加え、交通費の負担が家計を圧迫している状況となっており、島びとからも「こうした状況を改善して欲しい。」という要望が多くあります。



神浦港フェリー入港(中島)

## (2) 台風・高潮・浸水などについて

島しょ部では海岸の近くの平地部に集落が広がり、台風の襲来時の風浪や高潮、降雨による浸水や海水による農産物への塩害対策が課題となっています。

## (3) 医療体制・医療サービス・救急活動体制について

高齢化が進行する島びとにとって、病院や診療所までの島内での交通手段の確保が困難となっているケースや夜間に医師が不在となり治療を受けることができないといった課題のほか、病院経営の安定化や医師等の確保などの課題があります。

救急活動体制については、消防救急艇の就航により、島しょ部の救急活動体制が整備され一定の評価を得ていますが、消防救急艇「はやぶさ」の出動が重なった場合の住民不安の解消が課題となっています。

## (4) 避難所・避難路等について

島しょ部では各地区の公民館や学校等が避難所に指定されていますが、そのほとんどが海岸近くの平地部に建てられています。近い将来発生が予想されている南海地震などに備えた、避難所や避難路の確保が課題となっています。

## (5) 漁港・港湾等について

漁港や港湾は台風や風浪などから漁船等を守る機能のほか、島しょ部の交通や物流の拠点としての機能を有しています。島びとや事業者、観光客など、海上交通を利用する者にとっては、駅やバス停と同じような交通の要衝であり、人にやさしく自然環境に調和した基盤整備が望まれています。